

カーボン・リーケージ対策と途上国の「参加」

平成22年5月27日
環境と関税政策に関する研究会
龍谷大学法学部教授
高村 ゆかり

リーケージ対策と途上国の「参加」

2010.5.27 高村ゆかり（龍谷大学）

【1】はじめに

・先進国が国境調整措置を含むリーケージ対策を採ること（あるいは主張すること）が、交渉における途上国の姿勢を前向きにし、次期枠組みに「参加」するよう促す効果を有するか

【2】カーボン・リーケージ対策

(1) 3つの種類のカーボン・リーケージ対策（Reinaud, 2008）

- A 温暖化対策による炭素価格の上昇を抑制、緩和する措置
 - ・カーボン・リーケージのおそれのあるセクターの目標の免除・緩和
 - ・排出量取引制度のもとでの割当方法による措置（ex. 無償割当）
 - ・エネルギー集約産業への補助金

- B 国境調整

- C 国際競争にさらされているセクターに関する国家間合意

(2) リーケージ対策のうちの代表的な措置の評価

| リーケージ対策 | リーケージに対する影響（効果） | 途上国の「参加」の促進 |
|------------------------------|--|--|
| A 排出量取引制度の下での割当方法による措置（無償割当） | 排出上限の水準によっては、国際競争力を失うことを軽減できる。新規施設の開設、閉鎖の規則、割当の基礎などによる（Reinaud, 2008） | それだけでは「参加」を促進する効果は期待できない 割当が先進国の削減水準を引き下げていると途上国が認識すれば、途上国の「参加」を促進するのは難しい |
| B 輸入品の排出量に基づく国境調整 | 一定の効果を期待しうるが、国境調整のためのベースラインによる。間接排出の扱いによっては電力集約セクターのリーケージの懸念には十分に対処できないおそれ | 一概に明らかではない 国境措置が途上国の「参加」を促進する可能性はあるが、他方で、温暖化交渉での主要途上国のポジションの硬化のおそれ、国境措置 |

| | | |
|---------------------|---------------------------------------|--|
| | がある (Reinaud, 2008) | が保護主義的措置とみなされると「貿易戦争」を引き起こすおそれがある (Bordoff, 2008) 実際のリーケージの影響は小さく、国境措置をとっても途上国の「参加」を促進する効果は少ない (Houser et al., 2008, Reinaud, 2009) |
| C セクターに関する 国家間合意 | 国際競争上の懸念を解決するのに役立つ可能性がある。セクターの目標水準による | 合意がなされれば「参加」を促進しうる可能性がある |

【3】政策オプションとしてのリーケージ対策—そのコンテキスト

(1) 次期枠組みをめぐる国際交渉の状況

・ありうる2つのシナリオ

①シナリオ A：多国間合意シナリオ (Universal regime scenario)

米の「参加」条件：新興国の「参加」＋国内での目標設定

新興国の「参加」条件：削減行動の約束 (国際的に法的拘束力のない形)、先進国の野心的な目標、資金、技術移転

その他の先進国の「参加」条件：米、新興国の「参加」

*コペンハーゲン合意は、米、新興国の妥協可能なラインを示す

→新興国の削減行動の約束：十分な約束か、果たされるのか、効果があるのか

*「セクター別アプローチ」「セクターレジッジティングメカニズム (SCM)」に対して、新興国は国際的なベンチマークを課されることへの強い懸念

②シナリオ B：各国独自対策シナリオ (Fragmented regime scenario)

=多国間合意形成に時間がかかる場合、各国が独自に対策をとるシナリオ

新興国の削減行動の約束：十分な約束か、果たされるのか、効果があるのか

・いずれのシナリオもリーケージに対処する十分な国際合意を容易には提供しえない可能性

(2) リーケージ対策をとろうとする国の rationale と背景

・米国の場合

1997年のバード＝ヘーゲル決議以来、米国が国際合意に参加するには以下の問題に対処す

る必要があると考えられている

- ①目標を免れている中印など途上国が不公正な国際競争条件から利益を得ている
- ②温暖化対策が米国の経済、雇用に対する悪影響

* 米国が国境措置をとる rationale (van Asselt et al., 2009)

- ① A stick for developing countries
- ② Free riding by developing countries
- ③ Levelling the playing field for American industries
- ④ Carbon leakage
- ⑤ Gaining support for cap-and-trade legislation

・ EU の場合

2013 年以降 EU 排出量取引制度の下でオークションによる割当を原則とすることが検討されたことに伴い、リーケージ対策が必要とされた

* EU が国境措置をとる rationale

少なくとも表向きには④+③ (European Commission, 2008)

【4】リーケージ対策が途上国の「参加」を促進するか

- ・ C の国際合意が最善の方法だが、セクターに関する国際合意締結の可能性は不透明
- ・ リーケージ対策のねらいと設計
- ・ 途上国の「参加」：何を求めるのか
主要途上国に先進国と同水準の削減目標を求めてもそうした「参加」は期待できず
- ・ 途上国の「参加」を促進する国境措置のための条件
途上国の事情、状況を踏まえた措置の設計 (Zhang, 2009 ほか)
cf. 国境措置発動のタイミング (Grace period)
国境措置の国際的調整 (van Asselt et al., 2009)
Carrot との組み合わせ (Zhang, 2009)

< 主要参考文献 >

- ・ Dröge, S., Takamura, Y. et al., *Tackling Leakage in a World of Unequal Carbon Prices* (Climate

Strategies, 2009)

- Houser, T. et al., *Leveling the Carbon Playing Field: International Competition and US Climate Policy Design* (Peterson Institute for International Economics and World Resources Institute, 2008)

- Reinaud, J., *Issues behind Competitiveness and Carbon Leakage: Focus on Heavy Industry*, IEA Information paper (OECD/IEA, 2008)

- Reinaud, J., “Would Unilateral Border Adjustment Measures be Effective in Preventing Carbon Leakage?” in UNEP and ADAM, *Climate and Trade Policies in a Post-2012 World* (UNEP, 2009)

- van Asselt, H. et al., *Addressing Leakage and Competitiveness in US Climate Policy: Issues Concerning Border Adjustment Measures* (Climate Strategies, 2009)

- Zhang, Z. X., “Encouraging Developing Country Involvement in a Post-2012 Climate Change Regime: Carrots, Sticks or Both?” in UNEP and ADAM, *Climate and Trade Policies in a Post-2012 World* (UNEP, 2009)